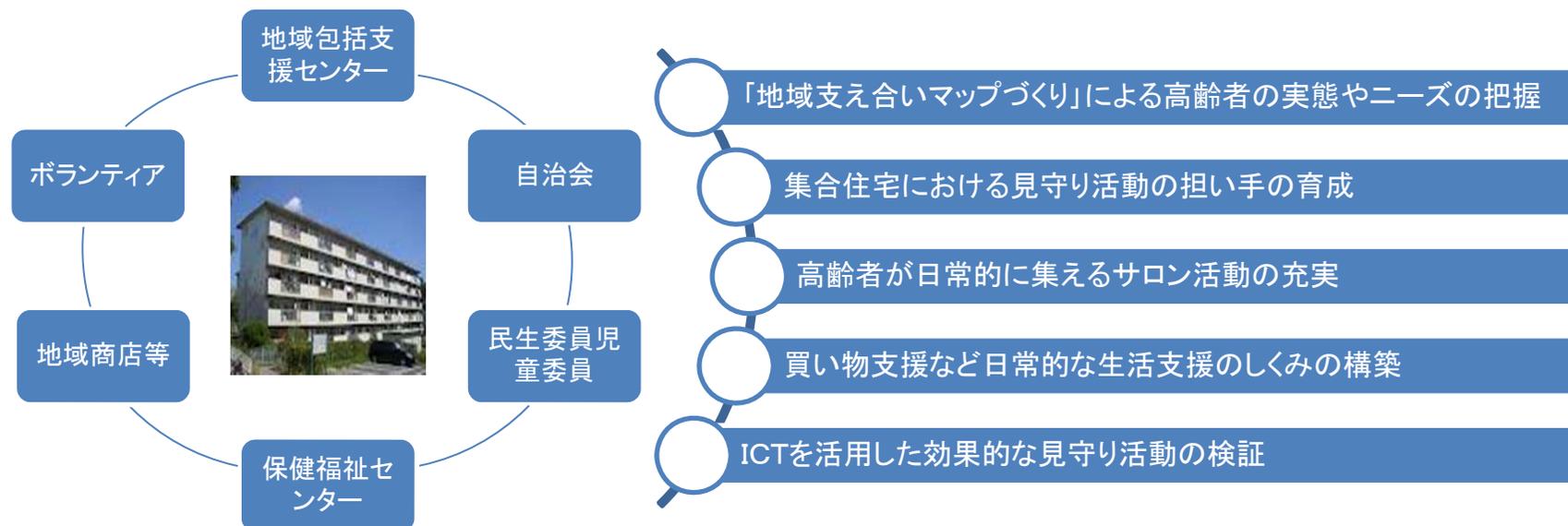


集合住宅における地域支え合い活動の支援(川崎市)

市内の市営住宅の2ヶ所をモデル地域として設定し、支援が必要な方の見守り支援や、閉じこもり防止等のため高齢者が集えるサロンづくりなど、具体的なしくみづくりを目指す。「安心生活創造事業」の一貫のモデル事業であり、事業期間は平成24年10月から平成26年3月とし、事業終了後は、内容を検証し、市内の他地域に展開させていく予定。



グループワーク



マップ作り



講演



地域包括ケアシステム構築に向けた取組事例（様式）

①市区町村名	川崎市	
②人口（※１）	1, 4 2 2, 3 7 5人（平成24年10月1日現在）	（ 9 1 5人 ）
③高齢化率（※１） （65歳以上、75歳以上それぞれについて記載）	1 7. 4 5 %	（ 3 3. 2 2 % ） ※75歳以上の高齢化率は不明
① 取組の概要	ひとり暮らし高齢者等に見守りや買い物支援などを実施することにより、互いに支えあう相互扶助を助長するとともに、地域で安心して暮らせるための支援を行う。	
⑤取組の特徴	選定した2箇所の団地にて、見守り体制等の仕組みづくりに寄与できるようモデル事業として実施し、実施後は、集合住宅エリアで通ずる手法などを検証し、他地域のエリアに取組みが波及できるよう図る。	
⑥開始年度	平成24年度	
⑦取組のこれまでの経緯	「地域支え合いマップづくり」による高齢者の実態把握、また、高齢者が日常的に集えるサロン活動の充実などに取り組む。	
⑧主な利用者と人数	見守りが必要な高齢者の実態等を確認している段階であり、利用者は確定していない。	
⑨取組の実施主体及び関連する団体・組織	自治会役員をはじめとする、地域における自主的な参加者による。地域包括支援センター等も後方支援する。	
⑩市区町村の関与（支援等）（※２）	相談員を派遣するなど、全面的に取り組みをサポートしている。	
⑪国・都道府県の関与（支援等）（※３）	「セーフティネット支援対策事業費補助金」における「安心生活創造事業」平成24年度予定額（4, 2 7 1千円）	
⑫取組の課題	事業終了後において自主財源を確保する方法等	
⑬今後の取組予定	買い物支援など日常生活支援のしくみの構築や、ICTを活用した効果的な見守り活動の検証など、様々なしくみづくりを目指す。事業終了後においては、内容を検証した上で、市内の他地域に展開させていく予定。	
⑭その他		
⑮担当部署及び連絡先	川崎市健康福祉局長寿社会部高齢者在宅サービス課 0 4 4 - 2 0 0 - 2 6 7 7	

※１ 一部地域に限定した実施の場合は、当該地域の人口・高齢化率を（ ）内に記載してください。

※２ 市町村から財政的支援が行われている場合には予算額等を含めて記載ください。

※３ 国や都道府県から財政的支援を受けている場合は、補助金や交付金等の名称、額等を含めて記載ください。